

## 【東予地域：ものづくり産業を核にした地域連携による活力創造圏域の形成】

### 〔地域の特性〕

四国の中央部に位置して、エクスハイウェイの結節点を有するなど交通の要衝  
製紙・紙加工業や鉄鋼業、造船業、繊維業などの製造品出荷額は県全体の8割を占める  
生産量全国1位の愛宕柿や裸麦をはじめ、自然条件を活かした多様な農林水産業を展開  
東西に人口10万人規模の4市が隣接し、それぞれが一定の都市機能を備える  
石鎚・赤石山系の山々や、しまなみ地域の多島美など、雄大で豊かな自然環境

### 〔地域の課題〕

グローバル化の進展に伴う生産拠点等の海外移転による産業空洞化の懸念  
高い技術力を有する中小企業の人材の確保と育成  
異業種との交流や独自の研究開発、販路開拓などによる企業の体質強化  
地域農業を持続的に維持・発展させていく新たな仕組みづくり  
しまなみ海道や石鎚山、別子銅山産業遺産など、観光資源の認知度向上  
企業や住居が密集する沿岸部の水害及び山間部の地すべり等の災害対策

### 〔地域振興の基本方向〕

#### 1 ものづくりを基軸とした足腰の強い産業基盤の形成

港湾、臨港道路等の整備による中核企業生産拠点等の留置対策の強化  
ものづくり産業を支える優秀な人材の確保及び若手技術者の育成  
産業支援機関や金融機関、研究機関等と連携した企業間マッチングの促進  
企業の技術や販売力、経営ノウハウ等を活用した新しい農業ビジネスの展開  
6次産業化など、農商工連携による多様な農業の担い手育成

#### 2 地域資源を活かした魅力ある観光交流圏の創造

旅行業者等と連携した「見る、体験する、学ぶ」産業観光の振興  
島、山など様々な地域でのサイクリングルートの開発、サイクリストの休憩所整備  
地域住民が主体的に取り組む“大・島博覧会”開催に向けた受け入れ態勢の準備  
新たな土産品の開発や滞在時間の延長・宿泊を伴う企画等による観光の産業化の促進  
かけがえのない豊かな自然環境と生物多様性の保全対策の実施  
水と緑を守り、次世代へ継承するための適正な森林管理の促進

#### 3 健康と安心が支える元気溢れる地域づくり

大学や医師会、関係機関等の連携による住民の安心を支える医療の確保  
ものづくりを支える中小企業に重点を置いた健康づくりの支援  
高齢者や障害者が周囲に支えられ、暮らすことができる地域社会づくりの支援

#### 4 都市機能の充実・再生と災害対応力の強化

管内の市町や経済関係団体等の広域連携の推進  
路線バスに加え、福祉バスやデマンドバスを活用した公共交通ネットワークの充実  
コミュニティビジネスの育成など、住民と協働したまちづくりの支援  
企業と地元自治組織等との災害時応援協定締結の支援  
石油コンビナート等、安全管理体制の構築及び事業活動に復帰するための災害対応力の強化

## 【中予地域：人、モノ、情報を駆使して広域的なけん引力を発揮する高機能圏域の形成】

### 〔地域の特性〕

都市部は県内随一の商業機能に加え、観光や文化など様々な分野のリーディングゾーン  
化学繊維や一般機械、食品加工など、個性的な製造業が着実に成長  
山間部等では、高冷地特有の気候を生かした高原野菜や清流米など多様な農産物等を産出  
観光資源として高いポテンシャルを有する豊かな自然と美しい景観が広がる  
中四国トップレベルの利用実績を誇る松山空港や松山港などの広域交通ネットワーク

### 〔地域の課題〕

地域間競争に打ち勝ち、愛媛全体の活性化をけん引するための新たな取組みの検討  
都市部では、都市機能の強化に加え、多様な水源の確保など水資源対策が必要  
山間部や島しょ部では、集落機能の維持や生産・生活基盤の確保、地域振興対策が急務  
地域一体となった安全・安心な地域医療の確立  
都市と農村の交流や、都市部が有する高次的都市機能の活用方策等の検討  
従来の流通システム等にとらわれない新しい発想による消費者や異業種間の連携推進

### 〔地域振興の基本方向〕

#### 1 人・モノ・情報のネットワークづくり

行政機関や企業、大学等の教育機関と連携した人材育成や、活用ネットワークの構築  
自然や歴史、文化、施設などの資源を広域的に結んだ体験型観光ルートの設定・PR  
産業観光や医療観光などの新たな観光手法の推進  
観光標識・観光案内の充実等

#### 2 県民が快適に生活できる環境づくり

松山外環状道路やJR松山駅付近連続立体交差事業などの推進  
山間部や島しょ部における社会資本整備の充実  
環境関連機関や教育関係者と連携した環境教育・環境学習の推進  
地域の多様な主体が協働して取り組む、高齢者や子どもが安心して暮らせる地域づくり  
大学や研修施設等と連携した専門的な研修事業による福祉人材の育成

#### 3 県民の生命・財産を守る体制等の整備

行政や消防、医療、自主防災組織等の連携による防災体制の強化  
自主防災組織のリーダーとしての防災士の養成や積極的活用  
都市部の医療機能活用による山間部や島しょ部等の医療体制の強化、救急医療体制の拡充  
食品流通の広域化・複雑化に対する、相談・監視体制の強化と消費者の自立支援

#### 4 活力ある産業づくりの推進

次代を担う若者と、地場産業や地域の農林水産業等との触れ合う機会の提供  
社会的・文化的な地域コミュニケーションの場となる商店街の機能強化・魅力増進  
農林水産業者と商工業者との連携による、新たな販売ルートの開拓や需要の掘り起こし  
新たな生産技術の速やかな普及や、鳥獣被害対策、農・林業生産基盤整備、放牧の推進  
道の駅等の直売所とのネットワーク化や都市消費者との交流促進  
木材の安定供給から加工販売までの総合的な取組みによる成長産業への育成

## 【南予地域：豊かな農林水産物と癒し空間が人を惹きつける交流圏域の形成】

### 〔地域の特性〕

県土の約44.5%を占めるが、大半が山林であり、典型的な中山間地域を形成  
四国カルストや佐田岬半島、宇和海海域公園など、多彩な自然が豊富  
多くの文化遺産や史跡、伝統的文化の継承など、穏やかで情緒あふれる地域を形成  
全国一の柑橘栽培をはじめ、林業、畜産、水産業など、県全体の5割を占める多彩な第一次産業を展開

### 〔地域の課題〕

県平均を大きく上回る人口の減少や高齢化の進展  
伊方原子力発電所に対する地域住民の不安解消や東南海・南海地震への対策強化  
安心して暮らすことのできる地域医療・福祉の充実や過疎地域の振興対策  
基幹産業である農林水産業の低迷や、商工業の不振、企業の撤退  
他の地域に比べて遅れている社会基盤の整備促進

### 〔地域振興の基本方向〕

#### 1 安全・安心な暮らしづくり

伊方原子力発電所に対する地域一体となった広域的な安全対策の推進  
東南海・南海地震等の発生に備えた地域防災力の向上  
地域医療の確保に向けた関係機関の連携や医療体制の拡充  
高齢者等が地域で生き生きと生活するための支援体制の整備

#### 2 活力ある産業づくり

有望品種の導入やブランド化、6次産業化による農家の所得向上と産地の活性化  
耕作放棄地の再生や鳥獣害防止対策による地域農業の振興  
市町や関係団体等と連携した地域材の利用促進等による林業の振興  
もうかる漁業の確立、持続的な生産体制の確保や意欲ある担い手の確保等による水産業の振興  
企業や大学と連携した商品の高付加価値化や新たな加工品の開発  
地域全体で取り組む企業誘致及び域内企業の留置対策

#### 3 訪れたいまちづくり

「えひめ南予いやし博2012」を契機とした南予の魅力発信力の強化による交流人口の増加と移住・定住の促進  
市町の広域連携事業の推進や産直市のネットワーク化などによる地域連携の強化

#### 4 地域を支える基盤づくり

高速道路や地域高規格道路など幹線道路網の整備促進と生活道路ネットワークの充実  
農林水産業を支える生産基盤の整備促進と物流基盤としての港湾の機能強化  
生活バス・鉄道路線や離島航路など地域公共交通の維持確保と利用促進